

## はじめに



本市は、平成 23（2011）年 3 月に西東京市産業振興マスタープランを策定し、平成 23（2011）年度から平成 25（2013）年度までをアクションプラン、平成 26（2014）年度から平成 30（2018）年度までを中期計画、令和元（2019）年度から令和 5（2023）年度までを後期計画として、「地域に根ざし、みんなに必要とされる産業が育ち・育てるまち 西東京」を将来像に掲げ、多様な産業振興施策に取り組んでまいりました。

近年、SDGs の視点でみる持続可能な社会への移行や、IoT をはじめとしたデジタル技術の発展、働き方の多様化等、地域産業を取り巻く環境は急速な変化を続けています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、日本経済にも多大な影響を与え、さらには原油価格や電気・ガス等の様々な物価が高騰したことにより、事業者及び市民の皆様におかれましては、大変多くの困難に直面したこととと思われます。

このような状況から、著しく変化する産業の動向を見極めつつ、地域資源の活用や市内産業の現状と課題、社会情勢を踏まえ、今後における持続的な発展を目指すため、新たに「西東京市第 2 次産業振興マスタープラン」を策定いたしました。

本計画では、「ここで生まれる ここでそだつ ここでつながる 西東京市」を将来像に掲げ、市内事業者が抱える経営課題に対してスピード感を持って対応し、本市の産業振興における分野ごとの目指す姿の実現に向けて、効果的かつ実効性の高い産業振興施策を展開していくことといたします。重点的な取組みとしては、商店街を含む事業者と多様な主体の交流や連携、若者から高齢者までの幅広い世代を対象とする起業・創業支援の推進等を掲げています。

本計画に掲げた各種取組みの更なる推進や発展、市内産業の着実な推進のためには、事業者、市民、各種関係機関等の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なご尽力を賜りました西東京市第 2 次産業振興マスタープラン策定委員会の委員の皆様をはじめ、アンケート調査やパブリックコメント等で多くの貴重なご意見をお寄せいただいた事業者、市民の皆様に心から感謝を申し上げます。

令和 6（2024）年 3 月

西東京市長

池澤隆史